

0歳児

0歳児

行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>懇談会</li> <li>誕生会</li> <li>健康診断 (保護者と共に)</li> </ul>	クラスの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>眠る、飲む、食べるの生活リズムがついてきている。</li> <li>5月後半から、ウイルス性の胃腸炎で休む子どもがいた。</li> </ul>	(養護・ならい・教育)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の生活リズムを整える。また、蒸し暑くなってくるので、こまめに着替えたり、沐浴をしたりして、心地よさを味わう。</li> <li>室内や園庭で特定の保育者とかかわり、好きな玩具や場所を見つけてあそぶ。</li> </ul>
----	---	--------	--	-------------	---

安全・食育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食は調理後2時間以内での食事を厳守し、食中毒を予防する。</li> <li>湿度・気温が高くなるので、こまめに水分補給をしていく。</li> <li>衛生面では、ウイルス感染症や細菌の繁殖を防ぐために、通常以上に頻りに玩具の消毒や室内の消毒をしていく。</li> </ul>	職員間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>眠る時間などが安定してくるなかで、眠る場所、入眠への手順なども一定にできるよう話し合っていく。</li> <li>沐浴の手順(タオル・着替えの準備場所)や、やり方、時間帯などの流れもそのつど話し合い、よりよい方法で行っていく。</li> </ul>
-----------	---	--------	---

育てたい内容と保育者のかかわり


○ミルクを飲んだり、離乳食を食べたりして、安心して入眠する。  
△気持ちよく食事をし入眠に向かえるように、特定の保育者がゆったりとかかわり、「おいしいね」と声をかけたり、子守歌等を歌っていく。

○育てたい内容 △保育者のかかわり

○興味のある玩具を見つけ繰り返しあそぶ。ほしい玩具を自分で取りに行く。  
△発達に合った玩具を用意し、その中から興味のある玩具で繰り返しあそびに誘う。また、子どもが好きな玩具を見逃さず、子どもから向けられたまなざしにこたえていく。さらに、室内でも山を作ったり、ハイハイで楽しめるあそびを一緒に行ったりして、からだを動かせる環境づくりを行う。

1・2週 3週 4週 5週

天気の良い日は散歩に出かける → 沐浴を始める → 室内あそびを充実させる



京のわらべうた「寝山へ参って」(2次元コードから動画をご覧いただけます)

### 保育の展開

離乳食を開始するに当たって

子どものようすや口の大きさに合わせてスプーンを使い分ける

いっばいあそんで楽しいな

その子どもの好きな玩具を用意しておく

一緒にハイハイを上ったり、名前を呼んで上ることを促す

絵本の絵やことばを繰り返し楽しむ

いつもの玩具があるかな？探してみよう

マットの山に上ってみよう

好きな絵本見つけたよ！先生読んで

これは何かな(白玉粉・片栗粉)

口に出来ないように見守る

外であそぶのは気持ちいいな

一緒に触りながら「サラサラだね」「気持ちいいね」などことばをかける

箱車に乗って楽しいな

危険がないか、そばで見守りながら一緒に楽しむ

触ると気持ちいいな

触ってみよう(砂・小石・草花など)

外あそび大好き

3つの視点

- ① 健やかに伸び伸びと育つ
- ② 身近な人と気持ちが通じ合う
- ③ 身近な物と関わり感性が育つ

5領域

- 【健康】
- 【人間関係】
- 【環境】
- 【言葉】
- 【表現】

子どもの姿 1週め記入

保育者のかかわり 1週め記入

子どもの姿 3週め追記

子どもの姿 (前月末)	子どもの育ち (ならい・内容)	保育者のかかわり (環境・かかわり・配慮)	反省・評価
A児 (6か月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めの離乳食を少しずつ、唇、舌をしっかりと動かして意欲的に食べる。</li> <li>自分の欲求や要求を十分に受けとめてもらい、抱かれたり、そばに来てもらったりして、安心してあそぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A児の食べたいようすや口の動きをしっかりと見て、食べ物をのせたスプーンを近づけると、唇を開けて食べ物を取り込む。唇を閉じ、舌を動かすなどの動作をゆっくり待ちながら介助する。</li> <li>表情やしぐさや泣き方などから思いを察し、「おなかすいたね」「抱っこしようね」と語りかけて授乳をしたり、ふれあいあそび等をして、安心して思いを表現できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくりと、自分のペースを大事にして食事介助をされるなかで、自分から口をスプーンに近づけるなど、積極的に食べていた。今後も、自分で食べたいという思いを大事にしたい。</li> </ul>
B児 (10か月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で腹ばいになったり、腹ばいからお座りができるようになったり、体勢を変えるたびにニコニコと笑う。</li> <li>園庭や砂地等に降ろされると泣くが、ダンボールの箱車に入ると、まわりをキョロキョロ見ながら「あっ」「おっ」と声を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腹ばいからお尻を高くあげたり、ひざをついたりして、ハイハイの姿勢で全身を動かすことを楽しむ。</li> <li>箱車で園庭を散歩したり、ビニールシートの上に座って虫や花を見たり、少しずつ砂やさまざまな物に触れて、感触を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内マットで作った山に登ったり、ボールを転がして保育者と一緒に「まてまてー」とハイハイで追いかけたりなど、からだを動かしてあそぶ楽しさを感じられるようにする。</li> <li>好きな箱車やビニールシートを用意して、直接的な砂の感触をやわらげるように工夫し、心地よい環境の中で興味のある物を見つけれられるようにする。</li> </ul>
C児 (1歳1か月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「パ... (パン)」「バイバイ (バイバイ)」など、少しずつ、保育者のことばをオウム返ししている。ときには自発的にもことばを発する。</li> <li>画用紙を引き寄せたり、絵筆を持ち、腕を動かして描いたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者の簡単なことばを理解し、自分でも話そうとするなど、保育者とのやりとりを楽しむ。</li> <li>腕を動かすことで線が現れることに興味を持ち、描画や表現活動を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視線の先にある物に保育者も目を向けたり、「ほら、○○やね」と語りかけるなどして、さまざまな場面で思いを共有し、応答的なやりとりの楽しさを感じられるようにする。</li> <li>思いきり表現できる大きさの画用紙や、握りやすい太めの筆などを用意し、線が出てくる面白さを感じられるようにする。</li> </ul>

家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症等に罹患した場合、病後の登園時は、家庭での機嫌や食事の量、食欲、睡眠、排泄など、ようすを細かく聞きとり、登園後は園でのようすをていねいに伝え、体調に合わせて安心して過ごせるようにするために保護者と共通理解をする。</li> <li>懇談会では、保護者の悩みを出し合い、保護者同士のつながりを築けるようにする。</li> <li>園児の健康診断は保護者と共に受けとめ、保護者の悩み等にもこたえていく。</li> </ul>
ふりかえり	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事では、苦手な食材も出始めている。無理せず楽しい雰囲気なかで食事ができるよう、今後も見ていく。</li> <li>汗をかいて蒸れたり、あせもができたたりすることがあるため、こまめに着替えたり沐浴をしたりして、気持ちよさを伝えてきた。夏の水あそびにもつなげていきたい。</li> <li>行動範囲が広がるなか、のびのびとからだを動かし、子どもの興味に合わせてあそべるようになってきた。また、ハイハイのとき手が開きにくい子どもは、意識的に斜面に誘ったり、赤ちゃんマッサージなども行ってきた。今後も腹ばいやハイハイであそべる環境をつくっていきたい。</li> </ul>